



身近の花は健気です。大それたことをしようと、気負っていません。自らは動こうともせずただ咲いているだけで私たちを和ませます。かく生きたいものです。

人が分かり合えるかと考える前に

バベルの塔の絵です。暗い印象が残りますね。旧約聖書の逸話、人が同じ言葉を話した時代、天に届くほど塔を作り我が名をあげようとなりました。傲慢さに神が怒り言葉を乱しました。やがて人の営みと塔は崩れ落ちたのでした。



人が高い所が好きなのは高層ビル乱立を見れば同じです。バベルの塔は紛争や戦争など傲慢な場面では、今でも見えずとも存ります。非常事態として権力が意図的に押し通す傲慢政策も、説明と同意を求めず行います。コロナ禍前から違法と情報隠滅を平然と続けた自民党各派が崩壊するのは当たり前。一般の言葉が通じませんでしたからね。議員は法律や条例を作る立場ですからまず順守の気質が必須です。選ばれた議員が破ってイイという特権などありません。潔く職を辞すべきです。再選出も認めません。



ア太郎 でこっ八



出典↑: 赤塚不二夫公認サイト「これでいいのだ」

映画を身近に

暗い中の2時間余。スクリーンの世界に身体ごと移動します。何を感じ思うかは夫々に任されること。自室のネット視聴とは違う文化体験です。進富座が伊勢市に本年新たに存続してくれて本当に感謝の思いです。ぜひ観に行きたい映画の紹介。役所広司さんがドイツの監督と撮った「パーフェクトデイズ」。「こんなふう生きていけたら」とトイレ掃除人の心地よく幸せな時間を共有できると思います。

節分も、生きる時間の区切り

2月4日が春分。1日前を節分として春を迎える前に邪気を打ち払い運氣を呼び込む行事が古来よりありました。

イワシとヒイラギが飾られ、豆まきで鬼を追い払う形の所以です。5節句はまた別ですね。ただ子どもが健やかに育てると思いは重なります。ふと思えます。人生の終わりに、始めと同様に添い寝は必要でしょうね。送る時こそ、身近に居て触れ合う体験は、在宅で当たり前にしたいものです。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105

メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<https://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可